

各位

平成 19 年 11 月 7 日

放射線取扱主任者

伴秀一

STF 棟における「STF クライオモジュール」の使用について

機構長の指定する放射線発生装置としての「STF クライオモジュール」の使用願いを
受け、インターロック、運転表示などの放射線安全設備の確認を平成 19 年 11 月 6 日 に行
い、同日より使用開始を認めましたのでお知らせいたします。

本装置が設置される地下トンネルおよび地下床下ピットは機構長の指定する放射線発
生装置に伴う放射線管理区域としてドアにより区画されており、装置運転期間中は放射線
業務従事者以外のものが立ち入ることはできません。

- 機器名 STF クライオモジュール
- 使用場所 STF 棟地下トンネル
- 発生装置責任者 早野 仁司
- 放射線担当者 野口 修一
- 放射線管理区域責任者 波戸 芳仁
- 放射線業務担当者 豊田 晃弘
- 規格 1.3 GHz 超伝導 RF 空洞 2 台装着
- 性能等 最大印加電圧 50 MV、最大電流 $0\mu\text{A}$ (暗電流 約 $1\mu\text{A}$)
- 機器の表面における最大の空間線量率 約 $500\mu\text{Sv/h}$

配布先

機構長

(素核研) 所長、副所長、各主幹

(物構研) 所長、副所長

(加速器) 施設長、総主幹、各主幹

(共通) 施設長、各センター長

安全衛生推進室